

令和3年度(令和2年度繰越) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況

単位(円)

	交付対象事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費	交付金充当額	実施状況	成果及び効果	担当課	備考
9	防災活動避難所支援事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、村内の5つの学校を避難所として追加で開設する必要があるが、停電時の対策として必要な発電機が装備されていない。そこで、村内5校に向けて発電機と電源バッテリー、および室内灯として用いる投光器の購入助成を行う。また、自主防災組織が避難所を運営する際に必要な消毒液、マスク、体温計等を支援する。 ②③LFD投光器・ポータブル電源126,500円×13台=1,644,500円、アルミ車いす29,500円×14台=413,000円、発電機1台(30.0(KVA))6,259,000円、小型発電機66,000円×5台=330,000円、折りたたみベット22,000円×21=462,000円、フェイスシールド180円×200枚=36,000円、3層メディカルマスク38円×6,000枚=228,000円、懐中電灯2,625円×50本=131,250円、非接触温度計9,800円×25台=245,000円、防災用品受け渡し用コンテナ3,840円×25個=96,000円、プラスチック手袋(100枚セット)500円×25個=12,500円、防災マット570枚×4,180円=2,382,600円、送料300千円 ④村内防災関連施設および避難所指定施設(公民館、防災会館、学校、体育館等)	16,863,853	16,863,853	R3.6.3~R4.2.14 資材導入	感染症対策として、避難所に資材を導入することで、安心して避難できる施設をより多く確保できた。	総務課	完了
18	宇検村で宿泊体験観光魅力再発見事業(第2弾)	①第1次で実施した宇検村で宿泊体験観光魅力再発見事業の第2弾として、村内の観光機運の醸成をさらに高めるべく、事前に登録をしたプログラム提供者のプログラムを利用する観光客等へ支援を行うとともに、アンケート調査を実施することで、既存サービスのブラッシュアップ等を図る。また、対象者へ宿泊および体験利用料の50~65%の助成を行う。 ②事前に登録をしたプログラム提供者で別途定めるコロナ対策を実施している宿泊、体験プログラム提供者、筆耕人報償費 ③宇検村内における推定助成費10千円×推定利用者500人=5,000千円、筆耕人報償(宇検村負担)500千円 ④奄美大島5市町村に住所を置く方	275,100	275,100	本村内の事業者については、宿泊事業者5者、体験プログラム提供者2者の登録があり、コロナ禍における活動自粛に伴う制限がみられたが、一定の利用者は確保できた。	島内各自治体を実施する同旨の事業に倣い、ハガキでの応募制を採用したことで一部の事業者のみが助成を受けるような偏りはなかったが、事業実施中に奄美大島新型コロナ警戒レベルが最大の5に引き上げられたこと等から利用者が自ら利用を控える等の影響で利用率は上がらなかった。	企画観光課	完了

21	避難所改修事業	<p>①台風常襲地域である本村において、台風に近い避難所の確保が重要であることから、既存の避難施設を補強し、安心して避難できる施設をより多く確保する。 また、避難所運営時に避難者のプライバシーを確保するとともに、発熱・咳などの症状がでた場合にトイレを分けて運営できるようにトイレを改修することで避難所生活の改善を図る。</p> <p>② 避難施設雨戸の設置(2箇所) サッシの強化ガラス化(1箇所) トイレ改修8箇所(入口の男女別化、段差の解消、便器の洋式化、外からの入り口設置等)</p> <p>③ 設計監理委託料 3,000千円 工事請負費 3,7529千円</p> <p>④村内指定避難所10箇所</p>	39,779,000	39,779,000	R3.2.1～R3.5.27 村内避難所を改修	感染症対策として、避難所を改修し、安心して避難できる施設をより多く確保できた。	総務課	完了
22	防災備蓄倉庫建設事業	<p>①新型コロナウイルス感染症対策では、なるべく多くの避難所を設けることが求められ、避難所運営には必然的に多くの備品、備蓄品が必要になってくることから、平常時の備蓄品の管理体制が重要である。今後は、一括管理する備蓄品を明確に定め、災害発生時に迅速に防災活動にあたるように、防災備蓄倉庫を建設する。</p> <p>②③ 設計監理委託料 1,480千円 工事請負費 9,400千円</p> <p>④宇検村防災備蓄倉庫</p>	10,732,700	10,732,700	R3.3.5～R3.6.24 備蓄倉庫1棟建設	備蓄倉庫を建設することで、感染症対策グッズを備蓄・確保することができた。	総務課	完了
30	キャリアアップ助成金	<p>①従業員の免許・資格等キャリアアップに取り組む事業所に対して、必要経費の一部を助成し、コロナに負けない経済の活性化を図る。</p> <p>②免許・資格取得に要する受験料(受講料)・旅費・交通費</p> <p>③交付対象経費の3分の2以内とし、上限は1件につき100千円 10件×100千円 = 1,000千円</p> <p>④宇検村に事業所を有する個人または法人で、雇用する従業員に別で定める資格を令和3年4月1日以降に取得させた事業者。村税等の滞納がない事業者</p>	633,000	633,000	R3.4.1～R4.3.31 助成対象期間 5事業者17名活用	本助成金により、新型コロナ感染症佳宇内の影響に負けず、雇用する従業員のキャリアアップを図ることができ、村内事業者の経営力向上につながった。	産業振興課	完了

31	地域環境整備事業	①高齢者の多い本村は、新型コロナウイルス感染拡大時における重傷化リスクが高い地域であり、果樹等における移植作業については機械化による省力化、労働力軽減を図ることで人との感染リスクを下げることができる。 ②農地における柑橘の植栽、移植等のための機械購入費。 ③機械購入費3,080千円 ④(株)宇検村元気の出る公社	2,420,000	2,420,000	R3.12月から作業実施 果樹農家の移植等の実施	コロナ禍における作業の省力化・労働力軽減を図ることができた。	産業振興課	完了
34	避難所改修事業(村体育館)	①新型コロナウイルス感染症対策として、村体育館を避難所として追加で開設する必要があるが、停電時の対策として必要な発電機が破損している。そこで、村体育館の発電機を新たに購入し、入れ替えを行う。 ②③発電機購入費 15,000千円×1基 ④宇検村総合体育館	12,705,000	12,705,000	発電機設置工事費 12,705千円	村体育館へ発電機を設置したことにより、災害時等も住民が安心して、避難できるようになった。	教育委員会 事務局	完了
35	宇検村で宿泊体験観光魅力再発見事業(第三弾)	①蔓延防止対策に伴う移動制限により、宿泊、飲食とガイド業者の稼働率が著しく減少していることから、地域内の観光機運の醸成を図るべく、利用者への一部支援を行うとともに、アンケート調査を実施することで、既存サービスのブラッシュアップ等を図る。また、村内の対象者への利用料支援による観光消費の増加も見込める。 ②実施要綱に基づく登録業者の単価で利用する利用料を予算の範囲内で一部支援する ③宿泊・利用に係る料金助成6,000千円(業者および利用内容により金額が異なるため、総額のみ表記)、事務委託費 1,000千円 ④宇検村に住所を置き、居住している者	8,776,020	8,776,020	宿泊及び飲食並びにガイド業が実施する体験ツアー等の観光関連事業者(「以下、「観光事業者」という。))においては、新型コロナウイルスによる旅行動機の停滞等が主な理由となり、新型コロナウイルス出現前にあった経営状況への回復は厳しい環境にあったことに鑑み、村民を対象にプレミアム付きの利用券を販売し、住民の観光事業者の利用を促すことで支援を行った。	助成対象者の利益の均衡を図るため、一人あたりの購入に上限を設けて購入できるように実施したところ、9割の村民が購入した。また、間接的な利益を受ける観光事業者へも即効性のある支援を行うため、利用券の利用可能期限を短期にすることで、コロナ禍により逼迫している地元観光事業者の収入増への支援が行えた。	企画観光課	完了
36	宇検村貸切バス支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している貸切バスの利用促進のため、宇検村民を対象に貸切バスの援助を行う。 ②③貸切バスの運賃の8割を補助(上限10万円)100千円×50団体=5,000千円 ④宇検村在住の貸切バス利用団体	34,992	34,992	島内貸切バス事業者3者と協定を締結し、本事業を実施した。各種放送媒体とチラシの配布により周知を行った。	コロナ禍で外出の機会が大幅に減少した村民の福祉の向上を目的に各種団体の利用を見込んでいたが、コロナに対する警戒心は依然として高く、利用団体は1組のみであった。	企画観光課	完了